Kobe University Repository : Kernel

PDF issue: 2026-11-24

人文学研究科古文書室架蔵文書群の紹介(四)（活動報告）

木村，修二

(Citation)
Link : 地域・大学・文化 : 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター年報,7:161-161

(Issue Date)
2015-12

(Resource Type)
departmental bulletin paper

(Version)
Version of Record

(JaLCDOI)
https://doi.org/10.24546/81009182

(URL)
https://hdl.handle.net/20.500.14094/81009182

KOBE UNIVERSITY

人文学研究科古文書室架蔵文書群の紹介（四）

◇水車新田文書

変遷　摂津国兎原郡水車新田（近世～）→兵庫県（摂津国）兎原郡（のち武庫郡）六甲村（明治二二～）→兵庫県神戸市灘区（昭和四～現在）

支配　幕府領（享保二〇～廃藩置県）

点数　二八点

年代　宝暦一〇（一七六〇）―昭和一〇（一九三五）※年代明記分

内容　内容は、村の性格上、水車に関するものが多い。とりわけ村域が展開する六甲谷川の流域を水車場を中心に描いた絵図は貴重。また、水車場と海岸部を繋ぐ道筋の通行をめぐりしばしば八幡村と争論に及んだ模様で、その関連史料がある。また、水車新田村内に水車納家を所持する他村の者が「支配人」を派遣するにあたり水車新田村に宛てた身元保証の一札が二点みられるなど、少ないながらも興味深い史料を含んでいる。一部は、明治八年（一八七五）に発生した篠原村との境界裁判の証拠書類とするため別の文書組織から抜き出された可能性もある。

伝来　古書店（大阪・中尾松泉堂）より購入（二〇〇六年度）

所属　神戸大学附属図書館人文科学図書館（人文学研究科古文書室架蔵）

目録　仮目録（Excelデータ）あり（未公開）

備考　蓋付木箱に収納。文書の宛所より推測して、おそらく村内の大利家に伝えられたものとみられる。水車新田の大利家文書は、本文書群とは別に「大利信正氏所蔵文書」として知られる文書群が確認されているが、本文書群がどういった経緯で同家を離れたのかは不明。「大利信正氏所蔵文書」は神戸市教育委員会より文書目録および史料翻刻が発行されている（『神戸市文献史料』第七巻、一九八六年）が、重複はみられないことから、本文書群は神戸市教委の調査より以前に大利家を離れた可能性もある。

参考文献　今井林太郎・八木哲浩『封建社会の農村構造』（有斐閣、一九五五年）、『兵庫県史』第四巻（一九七九年）、前掲『神戸市文献史料』第七巻、『新修神戸市史』歴史編Ⅲ近世（一九九二年）

（木村修二）

人文学研究科古文書室収蔵文書一覧（二〇一四年度購入分）

本号では、二〇一四年度に新たに購入し、人文学研究科古文書室に収蔵された文書群を紹介する。新規購入史料の所管は、すべて附属図書館所蔵である。この文書群は現在未整理の状態にあるが、今後整理を進めていきたいと考えている。（吉川圭太）

明治期須磨焼創始者・坂井豈山次永（がいざんつぐなが）文書　（現神戸市）　1式